

バス停からの 小さな旅



文化の森スタッフが、あい愛バスを使った小さな旅を紹介します。

34 「中川浦公民館西(ほたる線)」から 「修道之碑」を訪ねる旅

三和町の川浦川沿いにある白山神社。社殿に続く参道の右手に「修道之碑」があります。加治田村から三和村川浦の間見峠を越えて神瀨村へ行く当時の加茂郡道(飛騨街道)の改修工事が、明治26(1893)年に始まり同32年に完成したことを示す貴重なものです。

明治20年代後半になると、農村に商品経済が浸透し始め、物資の流通が活発化し、輸送手段として荷車が次第に普及し始めました。それは道路幅を広げるなどの改修を促し、輸送力の向上をもたらすことにもなりました。

「修道之碑」の典雅な題字は、当時、土岐郡長だった水谷弓夫(1848〜?)年)が書いたものです。政治家であり教育者だった彼は、土岐郡立陶器学校(現多治見工業高校)などの設立に尽力しました。また、漢詩文に通じ、「奥嶺」という雅号を用いて書をよくしたことが知られています。

この街道は、現在も県道97号線の一部として利用されています。時代に合わせて形を変えていく道の姿。この石碑は在りし日の行き交う人や物の流れを見せてくれるようです。

文化の森 ☎ 28・1110



▲白山神社と「修道之碑」



今回乗車したバス

行き…ほたる線

Aコース3便

帰り…ほたる線

Bコース4便

09時19分 美濃太田駅北口

09時59分 中川浦公民館西

下車後、県道97号線を

東に進み、ほどなく左

手に見える白山神社の

社殿で参拝。参道脇の

修道之碑を見る。

11時29分 中川浦公民館西

12時10分 美濃太田駅北口



▲七宗町へと続く県道97号線(富加七宗線)